学校番号	414

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「文学国語」　（大修館書店）						
副教材等	「大学入試に出た核心漢字 2500＋語彙 1000」（尚文出版株式会社） 「練成現代文」（尚文出版株式会社） 「新版新訂総合国語便覧 2024」（第一学習社） 「国語便覧ワークノート」（第一学習社） 「徹底演習　新しい共通テスト国語対策問題集　［現代文＋古典］35」（株式会社桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目は２年次開講の「文学国語」の後継科目である。「文学国語」では近現代の様々な文筆家が著した作品を読み味わってきた。本科目においては、時代背景や筆者のおかれた状況などにも留意しながらより多くの作品を読んでいく。受講生諸氏には、中等教育段階の最終盤として、自身の興味関心の幅をより一層広げるとともに、現代の予測不可能な社会において「文学」がどのような役割を果たすかということにも思考を巡らせながら学びを深められることを期待したい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	随想・評論(一)―表現の魅力 ［教材］ 堀江敏幸 「負の座標に向かって」 (p.246～p.249)	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：自然の描写をはじめとする表現の特徴に着目し、文章の魅力を読み味わおうとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	小説(一)―日常への視点 ［教材］ 角田光代 「鍋セット」 (p.252～p.266)	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：文体の特徴と効果をおさえ、作品を読み味わい、自身の日常や体験について考えを深めようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	小説(二)―寓意の世界 ［教材］ 安部公房 「赤い繭」 (p.278～p.284)	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：作品のもつ寓意性や、その表現方法の特徴について考えを深めようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	［教材］ 【書く】視点を考えて書く (p.290)	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[書]：文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。 c：語り手の視点を意識した上で、構成や展開、表現のしかたなどについて吟味しながら文章を書き、読み合うことを通じて語り手の重要性について理解を深めている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
二学期	随想・評論(二)―文化と伝統 ［教材］ 谷崎潤一郎 「陰翳礼讃」 (p.300～p.310)	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：筆者の表現をふまえ、伝統的な価値観やその変化について考えを深めようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	小説(三)―発見と批評 ［教材］ 梶井基次郎 「檸檬」 (p.312～p.324)	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：登場人物のものの見方を押さえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察

	［教材］ 【書く】ショートストーリーを書く (p.330)	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[読]：文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。 c：これまでの学習内容を活用しながらショートストーリーを書き、他者からの指摘をもとによりよい文章を目指して修正しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	小説（四）―時代と表現 ［教材］ 森鴎外 「舞姫」 (p.332～p.364)	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c：時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇を理解しながら、作品を読み味わおうとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
三学期	随想・評論（三）―言語と文化 ［教材］ 津島佑子 「物語る声を求めて」 (p.394～p.402)	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：筆者の表現をふまえ、広い視野で文学作品や言語文化を理解しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	随想・評論（一）―想像と共感 ［教材］ 朝井リョウ 「十八歳の選択」 (p.12～p.17)	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。b[読]：作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察

4　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　　…　（　１５～２０　）時間

・読むこと　　…　（　５０～５５　）時間